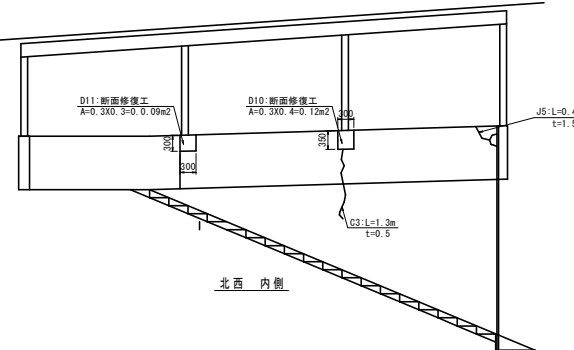
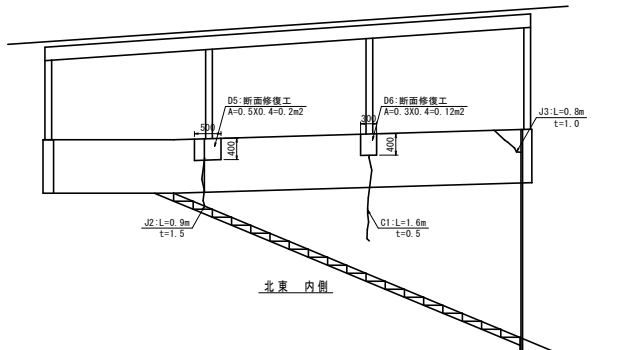
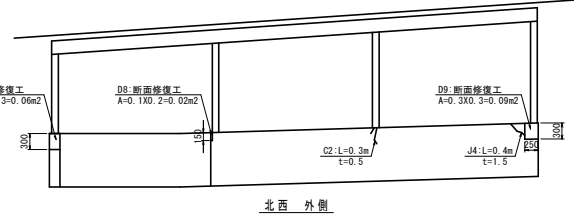
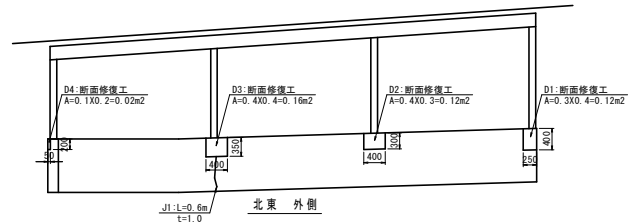
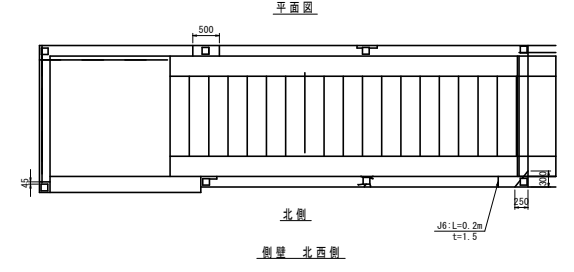
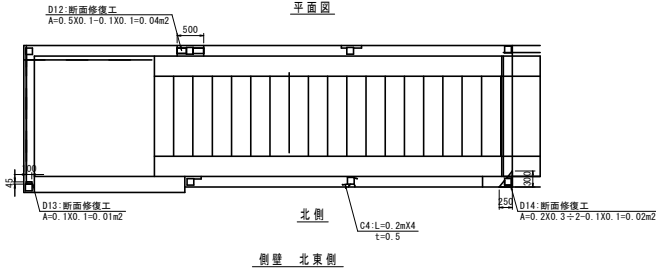


神宅地下道補修計画図(1)

S=1/50



補修数量表-1 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)		
側壁	D1	0.3X0.4	0.12	平面	D12	0.05-0.01	0.04
側壁	D2	0.4X0.3	0.12	側壁	D13	0.03-0.01	0.02
側壁	D3	0.4X0.4	0.16	側壁	D14	0.1X0.1	0.01
北東側	D4	0.1X0.2	0.02				
北東側	D5	0.5X0.4	0.20				
北東側	D6	0.3X0.4	0.12				
側壁	D7	0.2X0.3	0.06				
側壁	D8	0.1X0.2	0.02				
北西側	D9	0.3X0.3	0.09				
北西側	D10	0.3X0.4	0.12				
北西側	D11	0.3X0.3	0.09				

断面修復工断面積 小計 A=1.19m²

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-2 (カッター工)

補修箇所	補修断面形状 (m)	カッター延長 (m)	補修箇所	補修断面形状 (m)	カッター延長 (m)		
側壁	D1	0.3+0.4	0.7	平面	D12	0.2X2	0.4
側壁	D2	0.4+0.3X2	1.00	側壁	D13	0.2+0.1	0.3
側壁	D3	0.4+0.4X2	1.20	側壁	D14	0.4	0.4
北東側	D4	0.1+0.2	0.30				
北東側	D5	0.5+0.4X2	1.30				
北東側	D6	0.3+0.4X2	1.10				
側壁	D7	0.3	0.30				
側壁	D8	0.1+0.2	0.30				
北西側	D9	0.3+0.3	0.60				
北西側	D10	0.3+0.4X2	1.10				
北西側	D11	0.3+0.3	0.60				

カッター工延長 小計 L=9.60m

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-1より)	1.19m ²
側面 (補修数量表-2より) 9.60m×0.05m	0.48m ²

断面修復用プライマー工面積 小計 A= 1.67m²

補修数量表-4 (ひび割れ注入工)

地下道			地下道		
補修箇所	ひび割れ幅 (mm)	注入延長 (m)	補修箇所	ひび割れ幅 (mm)	注入延長 (m)
C1	0.5	1.60	C4	0.5	0.2X4+0.8
C2	0.5	0.30			
C3	0.5	1.30			

ひび割れ注入工延長 小計 L= 4.00m

※ひび割れ深さは、t=10cmとする。

補修数量表-5 (ひび割れ充填工)

地下道		
補修箇所	ひび割れ幅 (mm)	注入延長 (m)
J1	1.0	0.60
J2	1.5	0.90
J3	1.0	0.80
J4	1.5	0.40
J5	1.5	0.40
J6	1.5	0.20

ひび割れ充填工延長 小計 L= 3.30m

※ひび割れ深さは、t=10cmとする。

補修数量表-6 (ひび割れ充填工)

ひび割れ充填工	施工形状	施工数量
カッター工	3.30×2	6.60m
プライマー	(0.02×3)×3.30×0.15	0.0297kg
充填材 (エポキシ樹脂系)	0.02×0.02×3.30×1700	2.244kg

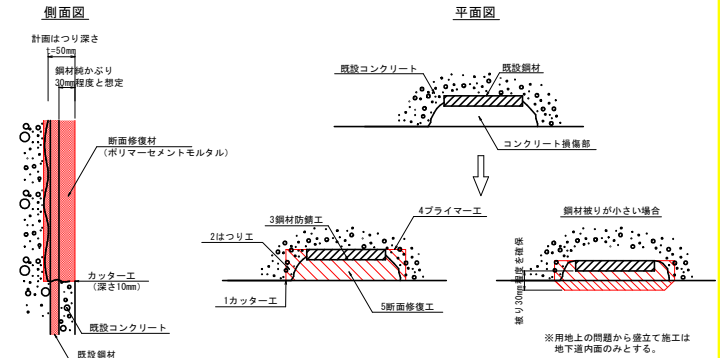
プライマーの標準設計量は下表のとおりとする。

使用材料区分	標準設計量
プライマー	0.15kg/m ²

充填材の標準設計量は下表のとおりとする。

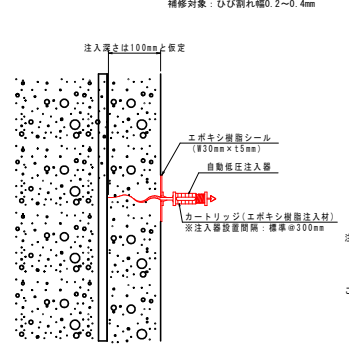
使用材料区分	充填材標準設計量
ポリマーセメント系	1.800kg/m ³
エポキシ樹脂系	1.700kg/m ³
シリコン樹脂系	1.450kg/m ³
ポリウレタン樹脂系	1.350kg/m ³

断面修復工 詳細図

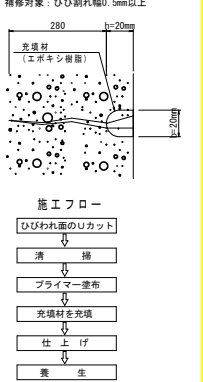


- 【施工手順 (断面修復工)】
1. カッター工
深さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつり工
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は図面として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げる。
 3. 鋼材防錆処理工
ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋表面の錆を落とす。
錆落としを行った鋼材表面に潤毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
 4. プライマー工
既設コンクリート面と断面修復材との密着性を確保するために、使用する断面修復材に応じたプライマーを塗布する。
 5. 断面修復工 (左官工法)
ポリマーセメントモルタルをコウシ塗りし、当初形状に戻す。
・使用材料は標準員に確認の上決定する。
・1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定する。(標準施工厚さ: 20~30mm)
・修復後の鋼材残りが少ない(30mm以下)場合は、30mm以上の残りを確保するために断面修復材を盛立て施工する。
※用地上の問題から盛立て施工は地下道内面のみとする。

ひび割れ注入工 詳細図



ひび割れ充填工 詳細図

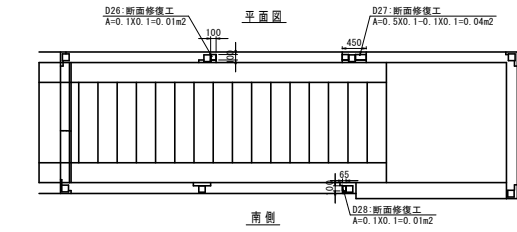


【神宅地下道 (西倉庫)】

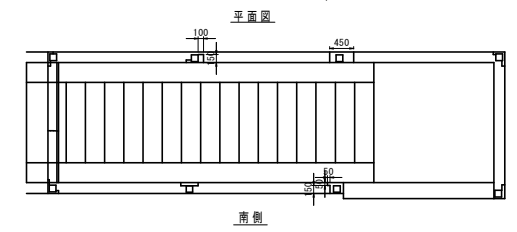
工事名	R-20土 噴門池田線 (神宅地下道) 上層・神宅 地下道補修工事		
路線名等	(主) 噴門池田線		
工事箇所	板野郡上板町神宅 (神宅地下道)		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	徳島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)		

神宅地下道補修計画図 (2)

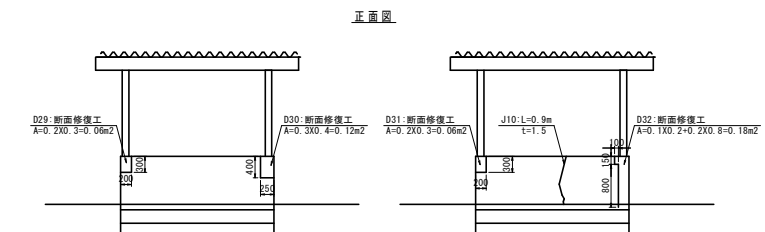
S=1/50



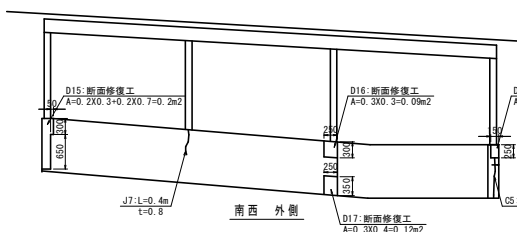
平面図



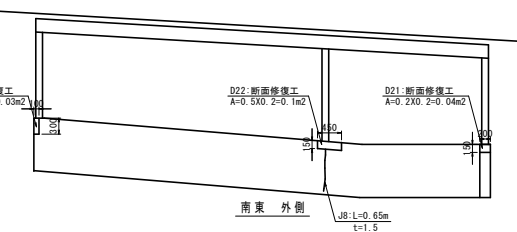
平面図



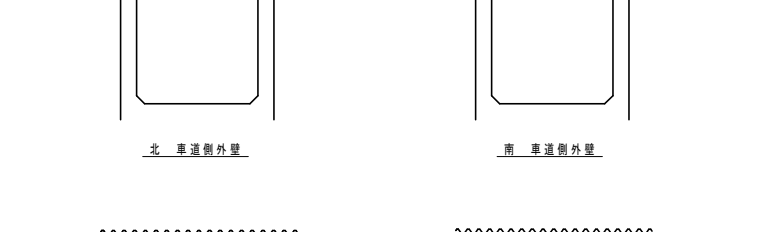
正面図



側壁 南西側

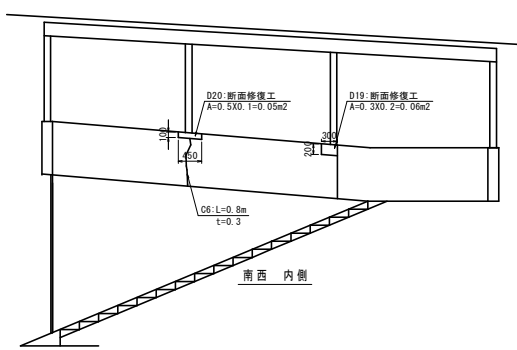


側壁 南東側

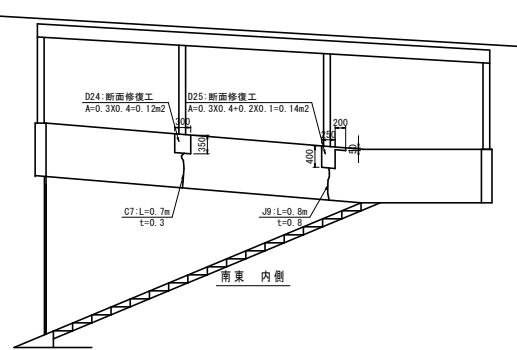


北車道側外壁

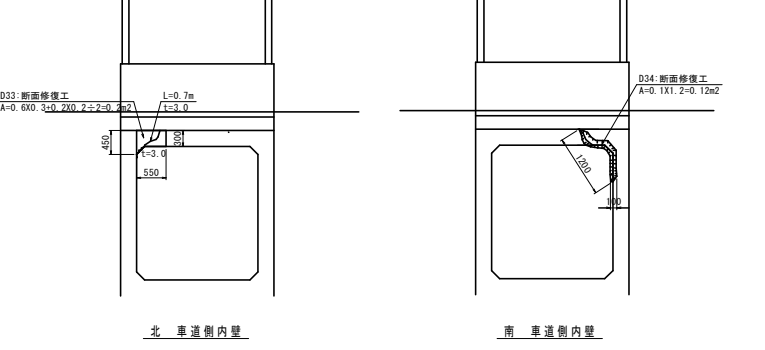
南車道側外壁



南西内側



南東内側



北車道側内壁

南車道側内壁

補修数量表-1 (断面修復工)

補修箇所	補修箇所		補修箇所	補修箇所		
	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)		補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	
側壁 南西側	D15	0.06+0.14	0.20	D26	0.10x1.1	0.01
	D16	0.30x0.3	0.09	D27	0.05-0.01	0.04
	D17	0.30x0.4	0.12	D28	0.10x1.1	0.01
	D18	0.20x0.3	0.06	D29	0.20x0.3	0.06
	D19	0.30x0.2	0.06	D30	0.30x0.4	0.12
側壁 南東側	D20	0.50x0.1	0.05	D31	0.20x0.3	0.06
	D21	0.20x0.2	0.04	D32	0.02+0.16	0.18
	D22	0.50x0.2	0.10	D33	0.18+0.02	0.20
	D23	0.10x0.3	0.03	D34	0.10x1.2	0.12
	D24	0.30x0.4	0.12			
D25	0.12+0.02	0.14				
断面修復工断面積 小計 A=1.81m ²						

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-2 (カッター工)

補修箇所	補修箇所		補修箇所	補修箇所		
	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)		補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	
側壁 南西側	D15	1.0+0.2	1.20	D26	0.1+0.1	0.20
	D16	0.3+0.3	0.60	D27	0.2x2	0.40
	D17	0.3+0.4	0.70	D28	0.1+0.1x2	0.30
	D18	0.2+0.3	0.50	D29	0.2+0.3	0.50
	D19	0.3+0.2	0.50	D30	0.3+0.4	0.70
側壁 南東側	D20	0.5+0.1x2	0.70	D31	0.2+0.3	0.50
	D21	0.2	0.20	D32	0.1+0.2+0.8	1.10
	D22	0.5+0.2x2	0.90	D33	0.5+0.6+0.3	1.40
	D23	0.1+0.3	0.40	D34	1.2x2+0.1x2	2.60
	D24	0.3+0.4x2	1.10			
D25	0.5+0.4x2	1.30				
カッター工延長 小計 L=15.80m						

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-5 (ひび割れ充填工)

補修箇所	地下道	
	ひび割れ幅 (mm)	注入延長 (m)
J7	0.8	0.40
J8	1.5	0.70
J9	0.8	0.80
J10	1.5	0.90
ひび割れ充填工延長 小計 L= 2.80m		

※ひび割れ深さは、t=10mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-1より)	1.81m ²
側面 (補修数量表-2より) 15.10m×0.05m	0.755m ²
断面修復用プライマー工面積 小計 A= 2.565m ²	

補修数量表-4 (ひび割れ注入工)

補修箇所	地下道	
	ひび割れ幅 (mm)	注入延長 (m)
C5	0.5	0.80
C6	0.3	0.80
C7	0.3	0.70
ひび割れ注入工延長 小計 L= 2.30m		

※ひび割れ深さは、t=10mmとする。

補修数量表-6 (ひび割れ充填工)

ひび割れ充填工	施工形状	施工数量
カッター工	2.80×2	5.60m
プライマー	(0.02×3)×2.80×0.15	0.252kg
充填材 (エポキシ樹脂系)	0.02×0.02×2.80×1700	1.904kg

プライマーの標準設計量は下表のとおりとする。

使用材料区分	標準設計量
プライマー	0.15kg/m ²

充填材の標準設計量は下表のとおりとする。

使用材料区分	充填材標準設計量
ポリマーセメント系	1.800kg/m ³
エポキシ樹脂系	1.700kg/m ³
シリコン樹脂系	1.450kg/m ³
ポリウレタン樹脂系	1.350kg/m ³

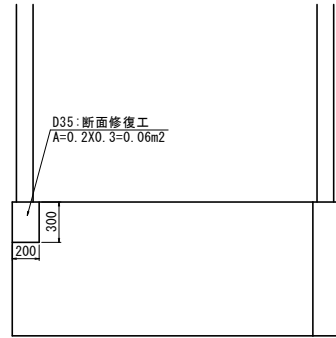
【神宅地下道 (西倉屋)】

工事名	R-2百土 門前池田線 (神宅地下道) 上板・神宅 地下道補修工事		
路線名等	(主) 門前池田線		
工事箇所	板野郡上板町神宅 (神宅地下道)		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	徳島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)		

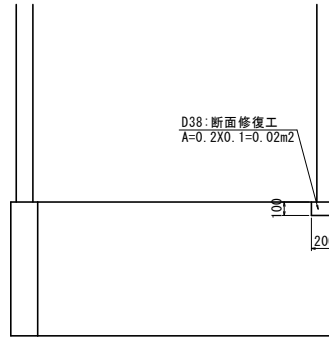
神宅地下道補修計画図 (3)

S=1/50

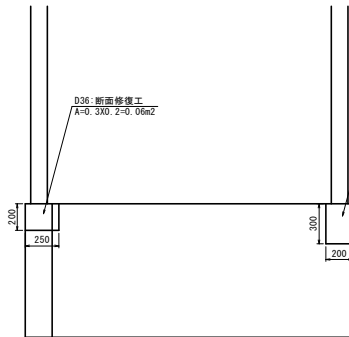
正面図



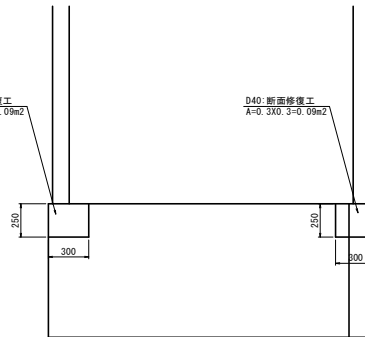
北側 内側側壁



南側 内側側壁



北側 外側側壁



南側 外側側壁

補修数量表-1 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	
入口側正面図	D35	0.2X0.3	0.06
	D36	0.3X0.2	0.06
	D37	0.2X0.3	0.06
	D38	0.2X0.1	0.02
	D39	0.3X0.3	0.09
	D40	0.3X0.3	0.09
断面修復工断面積 小計 A=0.38m ²			

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-2 (カッター工)

補修箇所	補修断面形状 (m)	カッター延長 (m)	
入口側正面図	D35	0.2+0.3	0.50
	D36	0.3+0.2	0.50
	D37	0.2+0.3	0.50
	D38	0.2+0.1	0.30
	D39	0.3+0.3	0.60
	D40	0.3+0.3	0.60
カッター工延長 小計 L=3.00m			

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

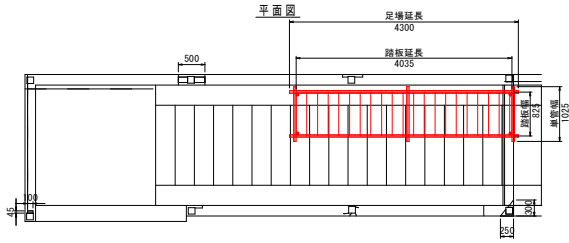
補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-1より)	0.38m ²
側面 (補修数量表-2より) 3.00m×0.05m	0.15m ²
断面修復用プライマー工面積 小計 A= 0.53m ²	

【神宅地下道 (西倉壁)】

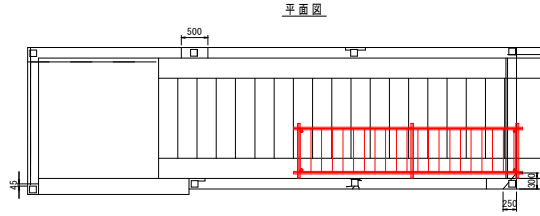
工事名	R-2百土 鳴門池田線 (神宅地下道) 上板・神宅 地下道補修工事		
路線名等	(主) 鳴門池田線		
工事箇所	板野郡上板町神宅 (神宅地下道)		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	徳島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)		

神宅地下道足場計画図 (参考図)

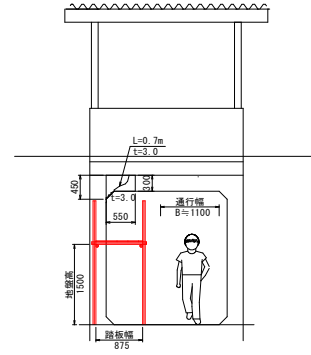
S=1/50



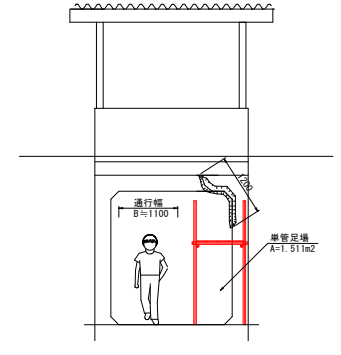
北側



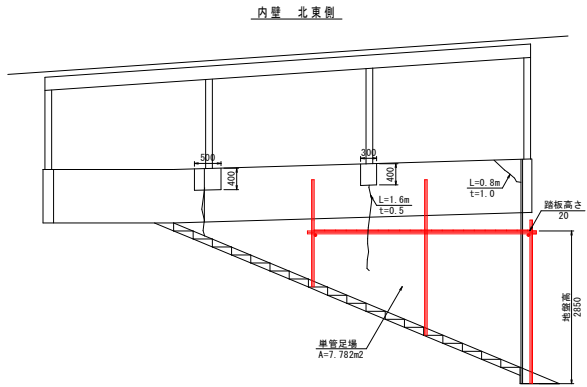
平面図



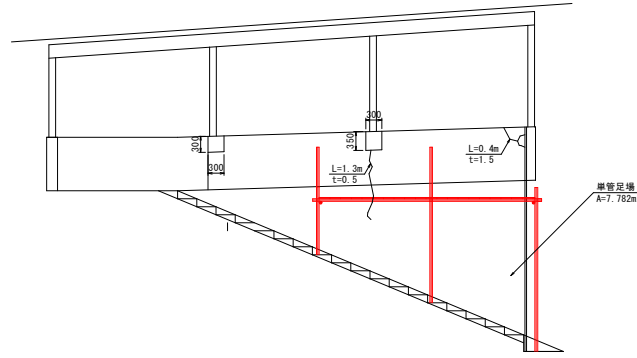
北車道側内壁



南車道側内壁

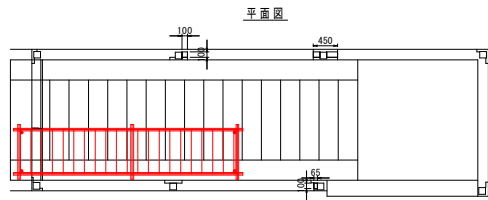


内壁 北東側

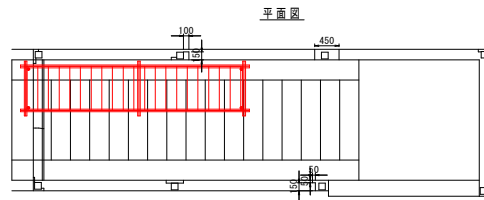


内壁 北西側

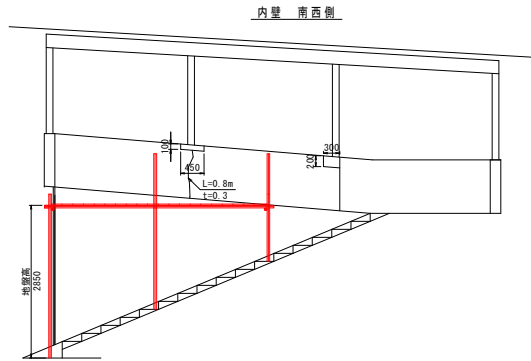
単管足場
A=7.78m²



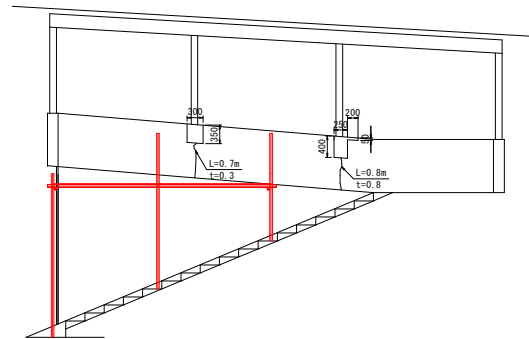
南側



平面図



内壁 南西側



側壁 南東側

【神宅地下道 (西倉壁)】

工事名	R-2 吉土 境門池田線 (神宅地下道) 上板・神宅 地下道補修工事		
路線名等	(主) 境門池田線		
工事箇所	板野郡上板町神宅 (神宅地下道)		
図面名			
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	徳島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)		